

令和 2 年 3 月市議会定例会 財 務 部 議案説明資料 (補正予算分)

目 次

【予算案件】

1 令和 2 年 3 月財務部補正予算（案）総括表	1 頁
2 訴訟に係る弁護士への報酬金について	2 頁

1 令和2年3月 財務部補正予算（案）総括表

【一般会計】

(単位：千円)

区分 予算科目(款・項)	補正前の額	今回補正額	補正後の額	備考
財 務 部 合 計	33,334,343	385	33,334,728	
(款2)総務費	3,980,975	385	3,981,360	
(項1)総務管理費	2,274,647	385	2,275,032	市有財産維持管理費 385
(項3)徴税費	1,706,328	0	1,706,328	
(款4)衛生費	156,965	0	156,965	
(項2)環境衛生費	156,965	0	156,965	
(款7)商工費	120	0	120	
(項1)商工費	120	0	120	
(款8)土木費	6,988,622	0	6,988,622	
(項5)都市計画費	6,988,622	0	6,988,622	
(款12)公債費	22,107,661	0	22,107,661	
(項1)公債費	22,107,661	0	22,107,661	
(款13)予備費	100,000	0	100,000	
(項1)予備費	100,000	0	100,000	

【市有財産維持管理費】

2 訴訟に係る弁護士への報酬金について

[管財課]

- (1) 補正額 385千円
〔 財源内訳 一般財源 385千円 〕

(2) 補正理由

平成28年10月に、本市が富山地方裁判所に提起した針原中町地内の法定外公共物（道路及び水路）の不法占有にかかる訴訟について、平成31年4月に確定した判決内容にそって不法占有状態が解消されたことから、本件訴訟における法律事務に関する委任契約書に基づき弁護士に報酬金を支払うもの。

(3) 訴訟の概要

平成28年（ワ）第253号 工作物撤去土地明渡請求事件

原告 富山市

被告 有限会社鈴木設備 取締役 鈴木宗一

被告は、自己の敷地内や隣接部分に存在する法定外公共物について、花壇やコンクリート擁壁等の工作物の設置や、倉庫の建設、水路の埋め立てなどにより不法に占有し、是正改善の求めにも応じなかったことから、工作物の撤去及び土地の明渡し等を求めて富山地方裁判所へ訴訟を提起したものである。平成31年3月に判決が言い渡され、同年4月に判決が確定した。

(4) 判決の要旨

ア 被告は、係争地の法定外公共物のうち、自己の敷地内のものを除き、土地上に設置する工作物等を撤去し、土地を明け渡すこと。

イ 被告は、原告が訴訟の過程で行った明渡しの範囲を確定するための測量費用について支払うこと。

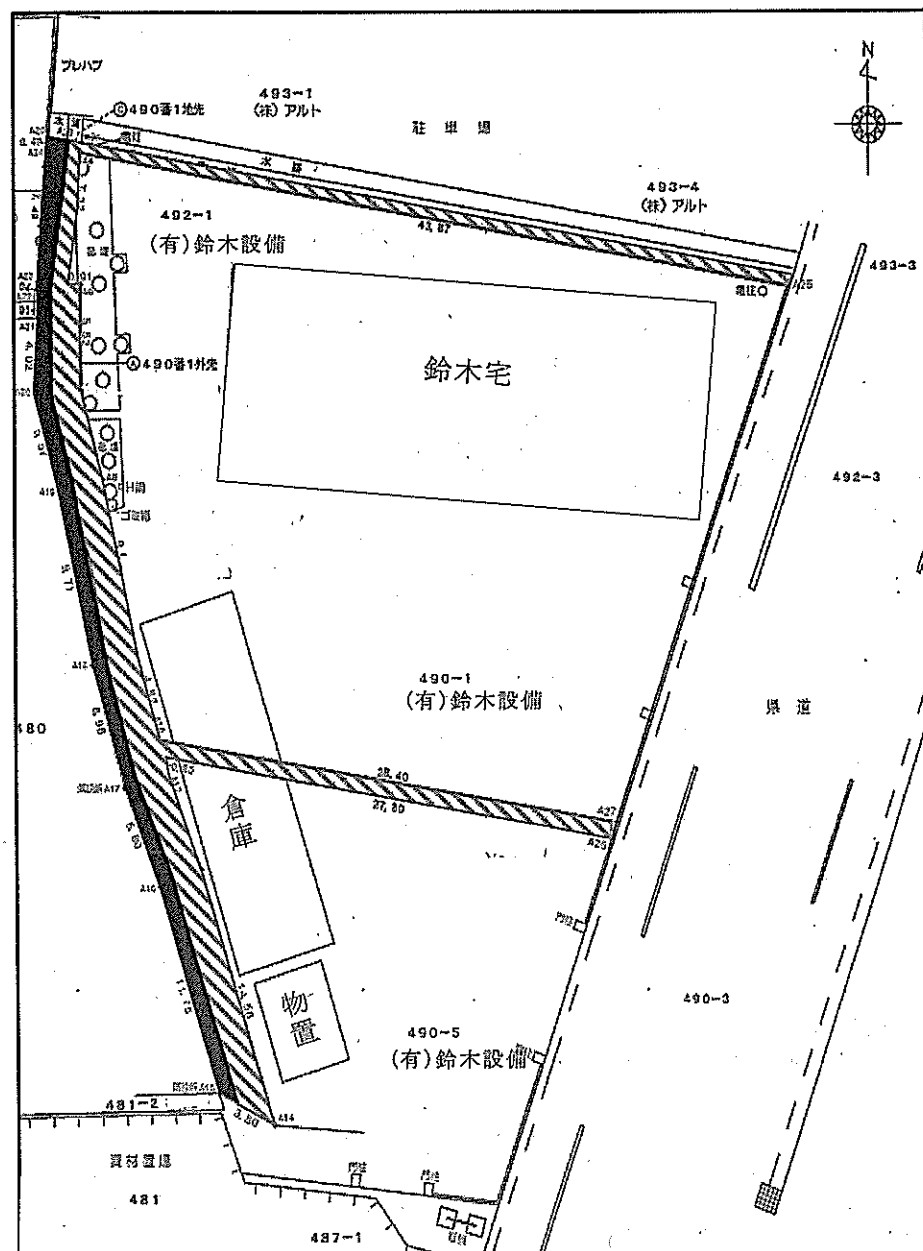
ウ 被告は、土地の明渡しが完了するまでの占用料を原告に支払うこと。


なお、水路機能の回復にかかる費用の請求については認められなかった。また、敷地内の水路については、払下げによる対応が適当であるとされた。

(5) 判決後の対応

被告が不法に占有した土地上の工作物等の撤去、明渡しについては、令和元年11月5日に完了したことを確認した。また、被告からは当該法定外公共物の一部について払下げの申請があったことから、地元道水路管理者等と協議し、同意を得た上で、可能な範囲で払下げを行った。

なお、明渡しの範囲を確定するための測量費用、明渡しまでの占用料及び払下げによる土地代金については、既に納付済みとなっている。




 ・ ・ ・ 払下げを行った範囲

・ ・ ・引き続き法定外公共物（水路）として存置する範囲